

EA934AA-1 (ウレタン補修テープセット)



水分によって速硬化するウレタン補修テープと、水漏れしていても仮止水できるゴムテープを組み合わせた補修用セットです。配管の水漏れ、円柱物などへの巻き付け補強等に使用できます。

【仕様】

成分	ウレタン樹脂(反応性樹脂)、ガラス繊維
硬化時間	約20分(24℃) 速硬化性です。
セット内容	ウレタン補修テープ(50mm巾×1.5m)1個、ゴム手袋 水道用ゴム板1個、仮止水用ゴムテープ(30mm巾×2m)1個 作業手順説明書

■特長

- ①ウレタン補修テープは水分によって速硬化(24℃にて約20分)しますので、作業が簡単で安全です。
- ②ウレタン補修テープの基布は伸縮性ニット構造のガラス繊維テープですので、巻き付けが簡単です。
- ③付属の仮止水用ゴムテープの使用により、水・空気・窒素が噴出したままでも仮止めできます。
試験値:水の場合 1.3Φの穴にて 直管部 水圧0.5MPaまで止水
1.3Φの穴にて 段差部 水圧0.25MPaまで止水
適用配管呼び径:上記穴径にて直管部 呼び径40Aまで
段差部 呼び径25Aまで

■用途

- ①導配管からの流体の漏れ修理。
イ)水系の配管からの液漏れ修理。ロ)エア、窒素配管からの気体の漏れ修理。
- ②ジョイント部分や柱状円材物などの補強。
イ)配管ジョイント部や柱、アンテナ、マスト、レーダー、塩ビパイプなど柱状円材物などの補強。
ロ)ケーブルなどの継ぎ部分からの漏電防止、絶縁、補強。
- ③各種施設の防食・補強。
イ)水中構造物(棧橋、陸橋、プラント)や水中ケーブルなどの防食・補強。
ロ)その他破損部の修理、補強。

■使用方法

- ①補修箇所汚れ・錆を落としてください。
- ②仮止水用ゴムテープを十分に伸ばしながら、巻いてください。
※止水の場合は付属の水道用ゴムを漏れ箇所にあててください。
- ③ゴム手袋を着用し、アルミパックから補修テープを取り出します。
補修テープを水道水(海水でも可)に約5秒間浸してください。
- ④補修テープを水から取り出し、5回以上補修箇所に強く引っ張りながら手早く巻き付けてください。
- ⑤巻き付け後の終端は折り曲がりをよく伸ばし、同時に手袋に水を付けて発砲が完了するまで樹脂を絞り込むように押さえて表面を滑らかに仕上げてください。
- ⑥硬化は補修箇所の温度が24℃で約20分です。

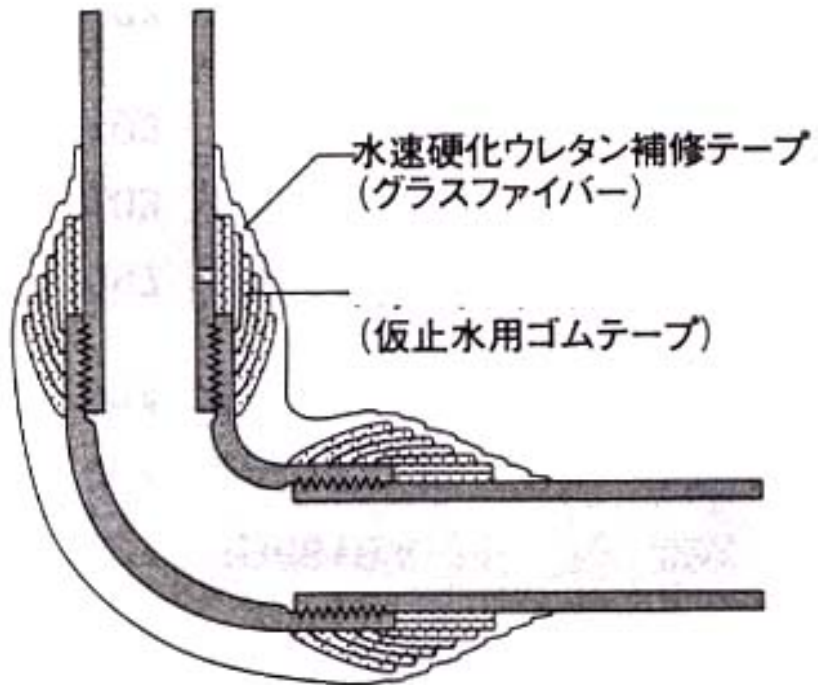
■使用上の注意

- ご使用前に商品の正しい使用方法や注意事項を必ずお読みください。
- 子供の手の届くところに置かないでください。
- 60℃以上になる箇所には使用しないでください。
- 使い方や用途が適切かどうか十分に確認のうえ使用してください。
- 工業用製品ですので家庭用には使用しないでください。
- 水速硬化性補修テープをアルミパックから取り出すと、空気的水分と反応して硬化が急速に進むので事前に使用方法を確認してください。
- 補修作業に必要な工具・備品などは予め準備してください。
イ)表面洗浄用品…サンドペーパー、ブラシ、ヤスリ。
ロ)補修テープ取扱備品…水(バケツなどの容器)、ハサミやカッター。
- 空容器や製品の廃棄は産業廃棄物として処理してください。

●本表示に記載されていない危険有害性につきましてはMSDS(製品安全データシート)をお読みください。

■取扱上の注意

- ①硬化が終了する前に、補修テープに素手で触れたり、目に入らないようにして下さい。
- ②誤って目に入った場合は、直ちに多量の清水で十分に洗い流し、医師の処置を受けてください。
- ③誤って飲み込んだ場合は、多量の水を飲み、医師の処置を受けてください。

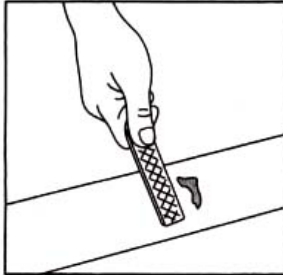


水速硬化ウレタン補修テープ

直管部用

作業手順

① 汚れ、サビ落とし



サビはヤスリや金ブラシ等で、できるだけ管の地肌ができるまで落とす。油や汚れも落とす。

⑤ 水に浸す



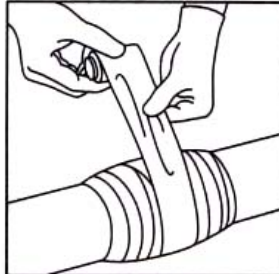
アルミバックから補修テープを取り出し、補修テープを水道水（海水でも可）に約5秒間浸してください。

② 巻き始め



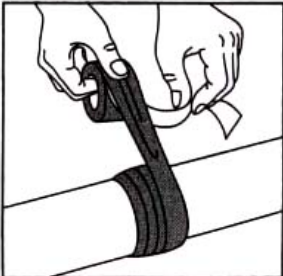
離型紙をはがしながら巻いてください。
※上水道の場合、付属の水道用ゴムを漏れている箇所に合わせて巻き始めてください。

⑥ 巻きつけ



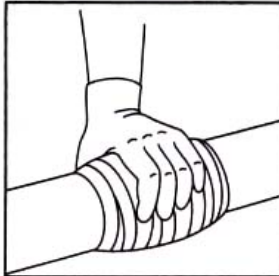
水から取り出した補修テープを5回以上補修箇所に強く引張りながら手早く巻き付けてください。⑧

③ 巻き重ねる



十分に伸ばして、ゆっくりと同じ場所、及び左右5mm程度に巻き重ねる。

⑦ 滑らかに仕上げ



巻き付け後の終端は折り曲りを良く伸ばし、同時に手袋に水を付けて発泡が完了するまで樹脂を絞り込むように押えて表面を滑らかに仕上げます。硬化時の温度は24℃で約20分です。

④ 巻き終わり



仮止水を確認したら余分なテープは切ってください。

⑧ 曲りや凸凹部分で補修テープの一部分に浮き上がりが予想される場合はテープを180°反転させながら巻きつけてください。

